

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : 補修用ラッカー 赤5号

製品番号 (SDS NO) : 3808_073965_J-1

製品種類 :

ニトロセルロースラッカー

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 金属・木工用

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 斎藤塗料株式会社

住所 : 大阪府大阪市淀川区三津屋北3-2-4

担当部署 : 技術部

電話番号 : 06-6301-4631

FAX : 06-6306-0831

e-mail address : info@saito-paint.co.jp

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分に該当しない

急性毒性(経皮) : 区分に該当しない

急性毒性(吸入) : 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分 : 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有害

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

漏出物を回収すること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：
混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化管法(令和5年3月31日まで有効) 政令番号
C.I. ピグメントレッド 170	2786-76-7	1 - 10	-
酸化チタン(IV)	13463-67-7	1 - 10	-
n-オクタン	111-65-9	< 1	-
ニトロセルロース	9004-70-0	1 - 10	-
酢酸エチル	141-78-6	20 - 30	-
酢酸n-ブチル	123-86-4	10 - 20	-
メチルシクロヘキサン	108-87-2	1 - 10	-
イソプロピルアルコール	67-63-0	1 - 10	-
エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル	111-76-2	1 - 10	-

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV), オクタン異性体, ニトロセルロース, 酢酸エチル, 酢酸n-ブチル, メチルシクロヘキサン, イソプロピルアルコール, エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酸化チタン(IV), オクタン異性体, ニトロセルロース, 酢酸エチル, 酢酸n-ブチル, メチルシクロヘキサン, イソプロピルアルコール, エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

水(棒状水、高圧水)、棒状強化液

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上より行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 関係者以外は近づけない。
- 適切な保護具を着用する。
- 着火源を取除くとともに換気を行う。

環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
- 乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す。
- 清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

二次災害の防止策

- 漏出物を回収すること。
- 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。

安全取扱注意事項

- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

安全な容器包装材料データなし

特定の最終用途

特定の最終用途に関する情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(酢酸エチル)

作業環境評価基準(2004) <= 200ppm

(酢酸n-ブチル)

作業環境評価基準(2012) <= 150ppm

(イソプロピルアルコール)

作業環境評価基準(2004) <= 200ppm

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

作業環境評価基準(1995) <= 25ppm

許容濃度

(酸化チタン(IV))

日本産衛学会(第2種粉塵)(吸入性粉塵) 1mg/m³; (総粉塵) 4mg/m³

(n-オクタン)

日本産衛学会(1989) 300ppm; 1400mg/m³

(酢酸エチル)

日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m³

(酢酸n-ブチル)

日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m³

(メチルシクロヘキサン)

日本産衛学会(1986) 400ppm; 1600mg/m³

(イソプロピルアルコール)

日本産衛学会(1987)(最大値) 400ppm; 980mg/m³

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

日本産衛学会(2017)(最大値) 20ppm; 97mg/m³(皮)

(酸化チタン(IV))

ACGIH(1996) TWA: (10mg/m³)(下気道刺激)

(オクタン異性体)

ACGIH(1999) TWA: 300ppm(上気道刺激)

(n-オクタン)

ACGIH(1999) TWA: 300ppm(上気道刺激)

(酢酸エチル)

ACGIH(1979) TWA: 400ppm(上気道及び眼刺激)

(酢酸n-ブチル)

ACGIH(2016) TWA: 50ppm;

STEL: 150ppm(眼及び上気道刺激)

(メチルシクロヘキサン)

ACGIH(1987) TWA: 400ppm(上気道刺激; 中枢神経系障害; 肝臓及び腎臓損傷)

(イソプロピルアルコール)

ACGIH(2001) TWA: 200ppm;

STEL: 400ppm(眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

ACGIH(2003) TWA: 20ppm(眼及び上気道刺激)

EU作業環境許容濃度(EU指令91/332/EEC~2019/1831/EUに準拠)

(酢酸エチル)

LTEL: 734mg/m³; 200ppm

STEL: 1468mg/m³; 400ppm

(酢酸n-ブチル)

LTEL: 241mg/m³; 50ppm

STEL: 723mg/m³; 150ppm

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

LTEL: 98mg/m³; 20ppm

STEL: 246mg/m³; 50ppm(皮膚吸収)

ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

有毒ガス用防毒マスクを着用する。

密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具

有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具

取扱いには保護メガネを着用する。

皮膚及び身体の保護具

取り扱う場合には皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。

また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：粘稠液体

色：赤色

臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：77°C

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限及び爆発上限/可燃限界：

爆発下限：1.2vol %

爆発上限：12.8vol %

引火点：1.0°C

自然発火点：258°C

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：0.96g/cm³

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

強酸、強アルカリを避けること

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)

(酢酸エチル)

rat LD50=5600mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(イソプロピルアルコール)

rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
rat LD50=470917mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)
[会社固有データ]
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
rat LD50 =470, 917 mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]
(酸化チタン(IV))
hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)
(酢酸エチル)
rabbit LD50 > 18000mg/kg (SIDS, 2008)
(イソプロピルアルコール)
rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
rabbit LD50=220mg/kg (ATSDR, 1998)
[会社固有データ]
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
rabbit LD50=220 mg/kg (ATSDR, 1998)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]
(酸化チタン(IV))
dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)
(酢酸エチル)
vapor: rat LC50=14640ppm/4hr (DFGOT vol.12, 1999)
(メチルシクロヘキサン)
vapor: mouse LC50=10000 - 12500ppm/2hr (換算値; 7071.1 - 8838.8ppm/4hr) (ACGIH 7th, 2001)

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
vapor: rat LC50=450ppm/4hr (SIDS, 2007)
[会社固有データ]
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
vapor : rat LC50=450 ppm/4hr (SIDS, 2007)

労働基準法: 疾病化学物質

酢酸エチル; 酢酸n-ブチル

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
ラビット 刺激性 (SIDS, 2006)
[会社固有データ]
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
ラビット 刺激性 (SIDS, 2006)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]
(酢酸エチル)
ラビット 一過性の刺激性, 7日までに全ての反応は消失 (ECETOC TR48, 1998)
(酢酸n-ブチル)
ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)
(メチルシクロヘキサン)
ラビット 結膜発赤, 48時間後には回復 (SIAP, 2014)
(イソプロピルアルコール)
ラビット (PATY 6th, 2012 et al)
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

ラビット (OECD TG405, GLP) 21日後に回復 (ECETOC TR95, 2005)

[会社固有データ]

(酸化チタン(IV))

ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

ラビット (OECD TG405, GLP) 21日後に回復 (ECETOC TR95, 2005)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

[会社固有データ]

(酸化チタン(IV))

IARC (Monograph Vol.93, in preparation) 粒径10-50nm Gr.2B

[IARC]

(酸化チタン(IV))

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(イソプロピルアルコール)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(酸化チタン(IV))

A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない

(イソプロピルアルコール)

A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

A3(2003) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[日本産衛学会]

(酸化チタン(IV))

第2群B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

cat. 2; PATTY 6th, 2012

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

cat. 2; rat : SIDS, 2006

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

中枢神経系、全身毒性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

血液系、呼吸器、肝臓、腎臓 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(酢酸エチル)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001; 環境省リスク評価第10巻, 2012)

(酢酸n-ブチル)

気道刺激性 (CICAD 64 2005)

(メチルシクロヘキサン)

気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)
(イソプロピルアルコール)
気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]
(ニトロセルロース)
麻酔作用 (HSDB, 2003)
(酢酸エチル)
麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001; SIDS, 2008)
(酢酸n-ブチル)
麻酔作用 (CICAD 64 2005)
(メチルシクロヘキサン)
麻酔作用 (SIAP, 2014; PATTY 6th, 2012)
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
麻酔作用 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)
[会社固有データ]
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
麻酔作用 (SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]
(酸化チタン(IV))
呼吸器 (SIDS, 2015)
(イソプロピルアルコール)
血液系 (EHC 103, 1990)
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
血液系 (SIDS, 2007; CICAD 67, 2010)

[区分2]

[日本公表根拠データ]
(メチルシクロヘキサン)
腎臓 (NITE安全性試験, Access on Sep. 2019; SIAP, 2014)
(イソプロピルアルコール)
呼吸器、肝臓、脾臓 (EHC 103, 1990)

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]
(メチルシクロヘキサン)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.33mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2006)
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)
魚類 (シープスヘッドミノー) LC50=116mg/L/96hr (環境省リスク評価第6巻, 2008、他)
(酢酸n-ブチル)
魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=18mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)
(酸化チタン(IV))
甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)
(酢酸エチル)
甲殻類 (ミジンコ) EC50=262 mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=230mg/L/96hr (環境省リスク評価第10巻, 2012)
(イソプロピルアルコール)

魚類 (メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)
(ニトロセルロース)

藻類 (セテナストラム) EC50=579mg/L/96hr (Aquire, 2003)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

藻類 (セテナストラム) NOErC=0.067mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2006)
(酢酸エチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=2.4mg/L/21days (ECETOC TR91, 2003)

(イソプロピルアルコール)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)

水溶解度

(メチルシクロヘキサン)

溶けない (ICSC, 1997)

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

混和する (ICSC, 2003)

(酢酸n-ブチル)

0.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(酸化チタン(IV))

溶けない (ICSC, 2002)

(酢酸エチル)

8 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2009)

(イソプロピルアルコール)

In water, infinitely soluble (25°C) (HSDB, 2013)

(ニトロセルロース)

100 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2009)

残留性・分解性

(メチルシクロヘキサン)

急速分解性なし (BODによる分解度:0% (既存点検, 1986))

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

BODによる分解度:96% (既存点検)

(酢酸n-ブチル)

急速分解性あり (BODによる分解度:98%, SIDS, 2009)

(酢酸エチル)

急速分解性あり (BOD分解度:66, 112, 105%/28day (通産省公報, 1993))

(イソプロピルアルコール)

急速分解性あり (BODによる分解度:86% (既存点検, 1993))

生体蓄積性

(メチルシクロヘキサン)

BCF=321 (Check & Review, Japan)

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)

log Pow=0.83 (PHYSPROP_DB, 2005)

(酢酸n-ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP_DB, 2009)

(酢酸エチル)

log Pow=0.73 (ICSC, 2014)

(イソプロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

特別管理産業廃棄物に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：1263

正式輸送名：

塗料又は塗料関連物質

分類または区分：3

容器等級：II

指針番号：128

特別規定番号：163; 367

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質（該当/非該当）：該当

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

水生環境有害性：長期(慢性) 区分1, 2 該当物質

n-オクタン; メチルシクロヘキサン

特別の安全対策

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(X類)

n-オクタン

有害液体物質(Y類)

エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル; 酢酸n-ブチル; メチルシクロヘキサン

有害液体物質(Z類)

イソプロピルアルコール; 酢酸エチル; 酸化チタン(IV)

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機則 第2種有機溶剤等

イソプロピルアルコール; エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル; 酢酸エチル; 酢酸n-ブチ

ル

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル; オクタン異性体; 酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; 酸化チタン(IV); ニトロセルロース; イソプロピルアルコール; メチルシクロヘキサン

名称通知危険/有害物

エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル; オクタン異性体; 酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; 酸化チタン(IV); ニトロセルロース; イソプロピルアルコール; メチルシクロヘキサン

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)に該当しない。

消防法

危険物

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

化審法

優先評価化学物質

イソプロピルアルコール; エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル

悪臭防止法

酢酸エチル

水質汚濁防止法

有害物質

ニトロセルロース

法令番号 26: C 100mg-(40%のアンモニア性+亜硝酸性+硝酸性)窒素/liter

指定物質

酢酸エチル

法令番号 13

化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
2021 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和2年度(2020年度))です。